

EEM360 医療特論 I

3年 3,4クォーター

担当教員 山次 俊介, 大木 央, 杉田 大輔

授業形態 講義

アクティブ・ラーニング アクティブ・ラーニング科目

単位数 2

授業概要

我々の健康を取り巻く社会状況から、健康の維持・増進に関する科学的な知識を理解する。また、運動・スポーツ医科学的な視点から、整形外科学、リハビリテーション学、運動生理学、解剖学などの理解を深める。特に、生活習慣病の一次予防に主眼をおいて、積極的な健康の獲得方法に関する正しい知識を習得する。また、我が国の健康課題を理解し、国民の健康寿命の延伸、およびQOLの向上への有効な対策に思考を進めることを目標とする。

到達目標

- 学生は、
- (1) 健康、障害と疾病の概念について学ぶ。
 - (2) エビデンスに基づいた健康情報の吟味する重要性を理解する。
 - (3) われわれの健康をとりまく社会的背景を認識し、一次予防の重要性を学ぶ。
 - (4) 生活習慣病を正しく理解し、健康な生活習慣を正しく意識する。

先修科目

なし

教科書・参考資料等

杏林書院「健康・スポーツ科学講義 第2版」出村慎一監修

授業の方法

印刷教材・視聴覚教材などを用いながら講義を進め、毎授業終了時に確認課題と派生した疑問について取り組み、次週の授業時に回答する。各単元のそれぞれの問題について考察レポートを作成する。また、予習、復習しやすいように單元ごとに修得すべきポイントをまとめ、確認する。

成績評価

定期試験の実施と、各單元において提出するレポート、修学態度から評価する。

再試験は、定期試験の点数が50点以上60点未満でレポート評価点、修学態度が良好な場合において、1回のみ実施する。

成績

80%	定期試験
10%	レポート
10%	修学態度

授業スケジュール

第1回：(杉田大輔)

健康科学の基礎医学、特に、運動療法について理解する。

第2回：(大木 央)

健康科学の基礎医学、特に、運動と骨・関節・骨格筋・脊髄について理解する。

第3回：(山次俊介)

健康科学概論、特に、健康情報リテラシーの重要性について理解する。

第4回：(山次俊介)

健康科学概論、特に、健康科学エビデンスの作り方と吟味、利益相反について理解する。

第5回：（山次俊介）

健康科学概論，特に，リスクの見積もり方について理解する。

第6回：（山次俊介）

健康科学概論，特に，メディアバイアスについて理解する。

第7回：（山次俊介）

我が国の健康問題，特に，我が国の健康問題の背景について理解する。

第8回：（山次俊介）

我が国の健康問題，特に，超高齢社会と少子化について理解する。

第9回：（山次俊介）

我が国の健康問題，特に，健康とQOLについて理解する。

第10回：（山次俊介）

我が国の健康問題，特に，我が国のヘルスプロモーションとその成果について理解する。

第11回：（山次俊介）

健康のための運動処方論，特に，運動のリスクについて理解する。

第12回：（山次俊介）

健康のための運動処方論，特に，運動のリスク予見と推奨される運動強度について理解する。

第13回：（山次俊介）

健康のための運動処方論，特に，運動・身体活動指針の変遷について理解する。

第14回：（山次俊介）

我が国の運動指針について理解する。

第15回：（山次俊介）

肥満，特に，肥満の現状 ～アメリカと日本の比較～ について理解する。

第16回：（山次俊介）

試験

事前・事後学習

予習：シラバスの授業内容を参考に、該当する教科書の章を予習しておくこと。／1時間程度

復習：授業時に配布した資料内容と教科書の重要事項の整理に1時間程度。